

## 例会報告

### 第339回「紙飛行機を作って飛ばそう！紙飛行機から学ぶものづくり」

佐賀市蓮池町（2024.6.23）

野外活動がやりにくい梅雨の時期なので、6月例会は体育館で紙飛行機を飛ばしました。講師の島健一さんは、紙飛行機以外にも自宅の庭をコンクリートで整備したり、3Dプリンターや繊維強化プラスチック（FRP）などを使ったさまざまなものづくりをやっておられたりします。昔は何百万円もした機材が、今では数万円で手に入るものもあるので、知恵と知識を活かしているんなオリジナル作品を安価に作れる時代だそうです。

今回作ったものは、長方形の薄い紙を使う折り紙飛行機ではなく、ケント紙に印刷した型紙をハサミで切って折ってホチキスで留めて作る紙飛行機です。型紙は島さんが長年試行錯誤しながら改良を続けているもので、少年団の例会で使用したものは、調整が難しい「すごくよく飛ぶ」タイプではなく、初心者向けの調整がやりやすいタイプのものを用意して頂きました。

出来上がったものを体育館で飛ばしてみましたが、ていねいに作っていてもなかなかうまく飛ばない人もいました。ところが島さんに調整していただくとよく飛ぶようになり、調整の大切さがよくわかりました。紙飛行機は作り方によっては、いくら調整しても期待したほどは飛ばないこともありますし、よく飛ぶ飛行機でも、何度も飛ばしているうちに地面や床にぶつかってゆがんでしまうこともあります。そのため家に帰ってから再チャレンジできるよう複数枚の型紙を持ち帰っていただきました。

参加者 26名

